



ロシア軍のシリア空爆。9月30日以降、民間人403名を含む1331人が死亡したとされる。



仏IS空爆強化へ  
“空母の準備整う”  
フランス トゥーロン  
18日

シャルル・ドゴール(空母)  
主力戦闘機のラファール18機含む  
戦闘機26機を配備



シリア空爆によって瓦礫の山に。  
1000万人以上が住居を失った。



ベルギー 新たなテロ懸念  
首都で戒厳態勢続く

ベルギー・ブリュッセル  
21日

戒厳体制が敷かれ、市民に銃を向けることが可能とされたベルギー

# 米仏露のシリア空爆弾劾！ 国際連帯ストライキで戦争止めよう！

14日の「イスラム国」による同時多発テロ。これを受けて各国は、テロ対策を名目に自国民に対しては弾圧強化、イラク・シリアの人々に対しては空爆を再開し、戦火を拡大しています。フランスは原子力空母を派遣。ロシアやアメリカと連携し、更に空爆を強化しています。現在でさえ、空爆で多くの犠牲者が出て、シリアの人口の半分以上が難民になっています。本当にこんな戦争を終わらせなければなりません！

石油目当てでの中東に対する抑圧・戦争と、国内における高い失業率。テロを受けてさへも、各国の支配者たちは、こうした自ら生み出した矛盾については一切顧みません。19日のAPECの首脳宣言では「われわれの自由で開放的な経済活動の礎である基本的価値を脅かすテロリズムを許さない」などと、人命ではなく、経済を脅かすから許せないなどと言っています！



2010年フランスで350万人が立ち上がったゼネスト！

経済のためだと言って非正規雇用を増加させ、就活さえ命がけのものにし、日本だけでも3万人が自殺していく。こんな社会を生み出して、顧みもしない支配者たちに「テロ弾劾」を言う資格はありません！こうした連中にも、民衆を虐殺するテロにも「ノー」です！

日本では安保法制の施行が3月に迫り、大学では軍事研究が進められています。どうしようもない戦争に私たちが加担させられようとしています。私たち学生以外に未来を担っていく存在はいません。私たち自身に未来を創っていく力があります。反戦ストライキに立ち上がり、戦争加担者にならない未来を拒否しましょう！「生きさせろ！」の声をあげて闘う世界の労働者と連帯して戦争を止めよう！

## 戒厳下のパリ、朝鮮戦争切迫の韓国はじめ、 戦争情勢下で立ち上がっている世界の労働者！

「テロ対策」を口実にした非常事態宣言によって、戒厳体制の敷かれたパリでは18日、バス労働者が24時間のストライキを行いました。屋外集会が一切禁止されるという厳しさの中でのストライキです。「政府や資本家は、今回の惨劇を受けて国民に結束を訴えているが、歴史的に見てもそういう非常事態の下で、私たちの権利が縮小され、労働者が勝ち取ってきた成果が奪われている。要求は正当だ。正々堂々と貫徹しよう」。こう訴え、2名の組合員をテロで失いながらも、全労働者の権利を守

広島大学学生自治会

(委員長・森田寛隆)

E-mail:hiro dai86@yahoo. co. jp

Blog:http://hiro dai86. blog. shinobi. jp/

るためのストを打ち抜きました。

また、朝鮮戦争の危機が切迫する韓国では14日、15万人が民衆総決起に立ち上がり、戦争と労働法制改悪を進めるパククネ政権を打倒するべく、命がけのデモを打ち抜きました。催涙液入りの強圧放水が襲い掛かってくるなか、機動隊車両をも引きずり離して、ひるまず大統領府を目指してデモ隊は進撃しました。



韓国： 警察が催涙液入り放水銃を乱射し、50人が逮捕、29人が病院に搬送される中、7時間以上対峙して闘いぬく！

すでに2人に1人が非正規にされており、さらに、雇用主が解雇を自由にできるようにする労働法制の改悪が進められようとしている。こんなものを絶対に許してはいけません！この必死の思いで立ち上がった人々です。

この先頭で闘う民主労総ハン・サンギョン委員長は「死ぬほど働いても人間らしく暮らせない世の中は私たちが望む世の中ではなく、その権力は私たちのための権力ではないのだから、労働者民衆のための世の中は私たちが作ろうということだ。労働者が立ち上がらなければ世の中は決して変わらない。一人で激しく戦うという覚悟ではなく、一緒に闘えば勝利することができ、不正な政権も追い出せるという自信を持とう。闘っても変わらないという敗北のくびきをふり捨てよう！」と訴えました。

戦争情勢だからこそ、世界の労働者は本気で立ち上がっています！

### 結束すべきは支配者ではなく私たち自身だ！ 世界の学生・労働者とともに立ち上がろう！

「テロ根絶で国際社会の結束を」。各国政府・マスコミや、日本共産党がふりまくこのスローガンは、シリア空爆・戦争を支持するものでしかありません。ここでいう「国際社会」というのは、各国の支配者たちのことです。自分たちの権益を拡大するために

戦争を行い、自国の労働者は使い捨てにする連中に頼むことなど何もありません。

「イスラム国」に参加する人々の多くは、働いてもまともに生きていけない非正規雇用、高い失業率といった現実打ちひしがれ、将来に絶望している若者です。欧州の青年失業率は2割を超え、移民の失業率は更に高いとされています。この絶望を生み出しているのは、戦争をおおっている一握りの支配者たちです。

この絶望に終止符を打ち、戦争を阻止する力が、国境を越えた労働者・学生の団結にはあります。結束すべきは、戦火を広げることしかできない支配者たちではなく、未来を担い、実際に社会を動かしている私たち学生・労働者です。学生・労働者が一つになればできないことはありません。この間、広大学生自治会は韓国に行って、韓国の学生や民主労総と連帯してきました。世界で闘う学生・労働者と一つに団結して、「生きられない」現実をつくりだす連中を打倒し、社会を根底から変革するために立ち上がろう！

3月、イラク石油労働者が戦火の中「テロにノー、緊縮政策にノー、我々労働者は経済危機の代金を払うことはしない。」とスト。



トルコでは10月、政府の爆弾テロで100人以上が犠牲に。抗議する反戦集会。

## 京大バリスト弾圧粉碎 ・緊急抗議集会

11月26日(木) 12:00~  
@京都大学時計台クスノキ前にて

10月27日の京大反戦ストライキに対して、京大当局は意義についての議論を一切拒否して、ストを業務妨害として警察に弾圧を依頼しています。この、戦争反対の意思を踏みにじる弾圧を許さない集会です。全学生への弾圧としてとらえ、広大からも結集しよう！



学内に侵入し、立て看板を押収する警察。

## 「戦争を止めるために、テロ事件をどう見るか？」学習会

11月27日(金) 16:30~  
@学生プラザ1Fミーティングルームにて

テロ事件と、それを名目にした戦火の拡大。一体どうすれば「テロも戦争もよくない」といった一般論で話を濁すのではなく、本当に戦争を終わらせることができるか。このことがかつてなく問われています。未来を担っていく学生として、真剣に議論しましょう！

